

木村 僖乃 会長 より

みなさんおかわりありませんか？ 今年コロナを少し意識しながらノーマスクで桜栄会研修会をおこないました。尾鼻俊弥氏の「急性期病院のススめ～栄養の専門家とは～」では、尾鼻氏は研究心旺盛にして診療への真摯な態度で学べば、管理栄養士としてやり甲斐のある職場と自信をもって話されました。急性期の病院の栄養士になりたいと思われた学生の方多かったのではないかと思います。栄養学科シンポジウムでは、笠本光希氏と橋本望氏がそれぞれの職場における仕事内容を紹介されました。詳細は後述におまかせしますが、三人の方の話方が声のトーン、スピード、間の持ち方がうまく、聞きやすく話術は中身だけでなく表現力も大事と感心しました。



さて会長の木村ですがおかげ様で 11 月 13 日に桜園会功労賞を頂きました。選考理由は大学の HP、桜園会に載るようでご覧ください。先生方、皆様のおかげです。この紙面で感想を述べますと、82 歳まで生きてきましたが、「つながり」の大事さを痛感しているところです。周東病院時代には、松岡先生が常に病院を訪れ、栄養士が辞めると優秀な栄養士を紹介していただき、その後輩に支えられて仕事ことができました。下関短大で教鞭をとった時には、先輩の梶本さんが詳細に大学での授業の教材を提供または指導してくれました。ウエルネスクリニックでは、学会の発表方法で乃木先生が手取り足取りでご指導してくれました。現在桜栄会の会長の継続も乃木先生のアドバイスのおかげと功労賞の推薦もしていただきました。窮地に追い込まれると大学の先生への相談で乗り越えてきました。会員のみなさまにお伝えします。山口県立大学での同窓としての「つながり」を大事にしてください。それは自分を助けてくれます。生きていく支えになります。今後校友会との関係で桜栄会がどのようになっていくかわかりませんが継続をお願いしたいですね。最後に桜栄会の会員のみなさまのご健勝とご多幸を祈って挨拶にします。



ひさしぶりの 懇談会



令和 6 年(2024 年)10 月 27 日、研修会に先立ち、10 周年記念の会(2018 年)以来となる懇談会も開催しました。元学長の長坂祐二先生もご参加くださいました。同窓生が開業する大人気のお店「いくこキッチン」の特製弁当をいただきながら、参加した会員から近況報告がありました。みなさまそれぞれの立場で母校栄養学科とのつながりについてもお話くださり、大変温かく懐かしい気持ちになりました。



研修会 (栄養学科シンポジウムと同時開催)

3 名の卒業生から、病院、保育園、行政(衛星監視)の立場でご活躍されている様子について、お話をいただきました。



地方独立行政法人神戸市民病院機構 中央市民病院栄養管理部にお勤めの尾鼻俊弥さん(H23 年卒)からは、急性期病院で働くことの魅力や、管理栄養士に求められているスキルについてお話していただき、患者さんとコミュニケーションをとり個人の想いや希望に寄り添った栄養指導をすることが管理栄養士に求められているということを学びました。また、ただ管理栄養士になることだけを目指して勉強するのではなく、学んで得た知識で患者さんのため、誰かのために働けるように勉強することが大切だというお話がとても印象的でした。一人ひとりの気持ちに寄り添うことの



できる管理栄養士になるために、今後も勉強に励んでいこうと思います。

笹本光希さん(R3 年卒)は、周南市こども未来部こども保育課 城ヶ丘保育園で栄養士として勤務されています。日々の業務内容や、給食提供において意識されていることなどを教えていただきました。また、こどもに五感を使って食について学んでもらうための食育活動についてもお話いただきました。こどもや保護者の方との関わりや園での実体験を聞き、保育園栄養士の役割とやりがいを学ぶことができました。



橋本望さん(H31卒)は山口県職員の衛生監視として働いておられます。初任地の柳井健康福祉センターでは環境薬事班、現在ご所属の萩健康福祉センターでは食品衛生班の配属になったそうです。衛生監視の仕事は大学の栄養学科で学んだことだけでなく、関係する法律の勉強が必要になる責任感の大きな仕事で、やりがいを強く感じていらっしゃいました。また、県の職員であることから、様々な業務を他業種の方と連携しながら進めていくことの重要性についてもお話いただきました。



栄養学科3年 吉田・井上・東浦

＊ 茶話会

茶話会では、病院系、食育・教育系、行政系の3部屋に分かれて、卒業生と在学生在が交流しました。本日の3名の発表者に加え、研修会に参加された卒業生の方からも、それぞれの職域の仕事について近い距離感で話が聞けたことは、学生にとって貴重な経験になったと思います。またこちらでは、同窓生が開業する「ドイツパンとワインの店 Liebling」のフロランタンが提供され、大変好評でした。美味しいお菓子とともに先輩と後輩の話がはずみ、あっという間の1時間となりました。



＊ 参加者の感想

県立大学を卒業し、今も学校と繋がりがあったものの、桜栄会研修会に参加したのはお恥ずかしながら今回が初。お世話になった先生方にお会い出来たことはもちろん、同窓生が様々な場所で活躍している様子や、“栄養士の仕事楽しい!!”と、キラキラ輝いている姿に大変刺激を受けました。講話では、尾鼻さんの急性期病院での仕事風景を想像しながら、参加した皆が話に引き込まれました。私も病院の規模や機能は違うけれど「患者様のために」という想いは同じで柱にしているところです。全体を通じ、私も頑張らなくては!と気が引き締められました。貴重なお話ありがとうございました。

平成23年卒業 池田晶子さん

同期生やお世話になった先生方とお会いできる機会を設けていただき、ありがとうございました。卒業生の方からは、管理栄養士等としてのやりがいや苦労している点など興味深い話が多々あり、自分と同じ大学を卒業した方がそれぞれの場で活躍されている様子を伺え、嬉しく思いました。また、在在学生の方には、今後の学生生活や将来の進路を考えていくための貴重な機会になったのではないかと思います。研修会・シンポジウムを企画いただいた事務局の皆様に感謝申し上げます。桜栄会の益々の発展を祈念しています。

平成23年卒業 山本倫也さん

＊ 編集後記

今年度の桜栄会行事は、久しぶりに懇談会も再開しフルコースで実施することができました。コロナ期に進化したハイブリッド研修会は今年も採用し、懐かしい顔と声とスクリーン上で繋がることができました。懇談会会場に予定していた新1号館の眺望の良い部屋が都合により急遽使用できなくなり残念でしたが、来年度には是非そのお部屋で皆さまとお会いできることを楽しみにしています!

ご意見ご要望等、事務局のメールアドレス oueikai@yamaguchi-pu.ac.jp にお寄せください。 乃木